

## 《ノートの使い方指導資料》

□/□□	○日付を書く。
④あて	○この授業の「めあて」を、ノートが一番最初に書く。 2行使って書かせます。授業の流れ上、「めあて」の提示が後になる場合は、最初 に書くスペースを確保して、後で書かせても構いません。
④問題	○焦点化された問題を書く。 問題を全文書かせても構いません。逆に、焦点化し、大切な部分だけ書かせても 構いません。教師の意図によって柔軟に対応します。
④見通し	○解き方の見通しと答えの見通しを書く。 既習事項を活用しながら、問題をどのように解いていくのか、解き方の見通しを 書かせます。答えの見通し（どのくらいの値になるか）も大切です。ここをどう取 り扱うか、板書をどうするかが指導上大切なポイントとなります。
④考え	○図、式、言葉、答えを書く。 式や答えも大切ですが、その途中の「根拠を明確に」し、自分の考えを表現させ ます。より分かりやすい表現を目指して、今まで学んできた絵（具体的、抽象的な など）、図（線分図、関係図、矢印など）、式（言葉の式、答えに至るまでの筋の通っ た式、なんとなく考えた式など）や言葉・説明などをうまく活用しながら書かせます。 「まず～」「次に～」「そして～」「最後に～」「～だから」「～なので」など順序を表 す言葉や理由を表す言葉を使わせたい。 ○友達の考えや教師の説明を付け加えて書く。 自分にはないところや素晴らしい考えを、色を変えて付け加えて、新たな考えとし ます。吹き出しなどで書き加えるのも一工夫です。
④まとめ	○自分の言葉でまとめる。 できるだけ自分の言葉でまとめさせます。大切な部分や事柄は赤で囲ませたり下 線を入れたり工夫させます。本時の「わかりやすいか・簡単にできるか・いつでも使 えるか」に注目させることが大切です。 今日の学習を通して、分かったこと、難しかったこと、困ったことなどの視点を 与えて「感想」を書かせるのも大切です。
④感想	
④練習	○活用を意識した練習問題をする。 本時の内容を活用できるような練習問題を用意するのが望ましい。

- 1時間の始まりは、ノートの左ページから始めます。1時間で見開き1ページを使用することを原則とします。
- 見やすいように、スペースを空けて工夫させます。
- 友達の考えや先生の説明は、赤で付け加えて記入させます。あまり色を使いすぎるのは見にくい原因となるので注意させます。
- ノートの評価を大切にします。
  - ・子どもの評価と指導の評価、次時の指導の資料となります。
  - ・よいノートは全体に紹介しながら児童全体に広げていきます。

（※ 鳥栖市立弥生が丘小学校指導資料を参考にして作成）